

仙台市 上場支援業務のご案内

令和8年度 仙台市上場支援業務

CREATE THE **STRENGTH**

ご挨拶



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、仙台市の上場支援業務（IPO伴走支援）を、今年度より私ども**株式会社KIC**が担当させていただくことになりました。

KICは、「**経営者と同じ目線に立ち、経営を前に進めるコンサルティングにより、経営者の真のパートナーとなる**」ことを理念に掲げ、すべてのステークホルダーから信頼されるプロフェッショナル集団を目指しております。IPOをゴールではなく企業成長の“手段”と捉え、上場の実現とその後の持続的な成長までを一貫してご支援いたします。

上場をご検討の際は、ぜひ本支援プログラムをご活用ください。皆さまのさらなるご発展の一助となれば幸いです。

なお、IPOに関する情報を、今後も定期的にお届けしてまいります。

株式会社KIC

01

本業務の実施方針とIPOに対するKICの考え

P3~P6 IPO・上場審査に対するKICの基本的な考え方と実施方針

02

本事業における各業務の支援内容

P7~P10 伴走支援・分析支援など、各業務の具体的な支援内容

03

KICによる伴走支援の特徴

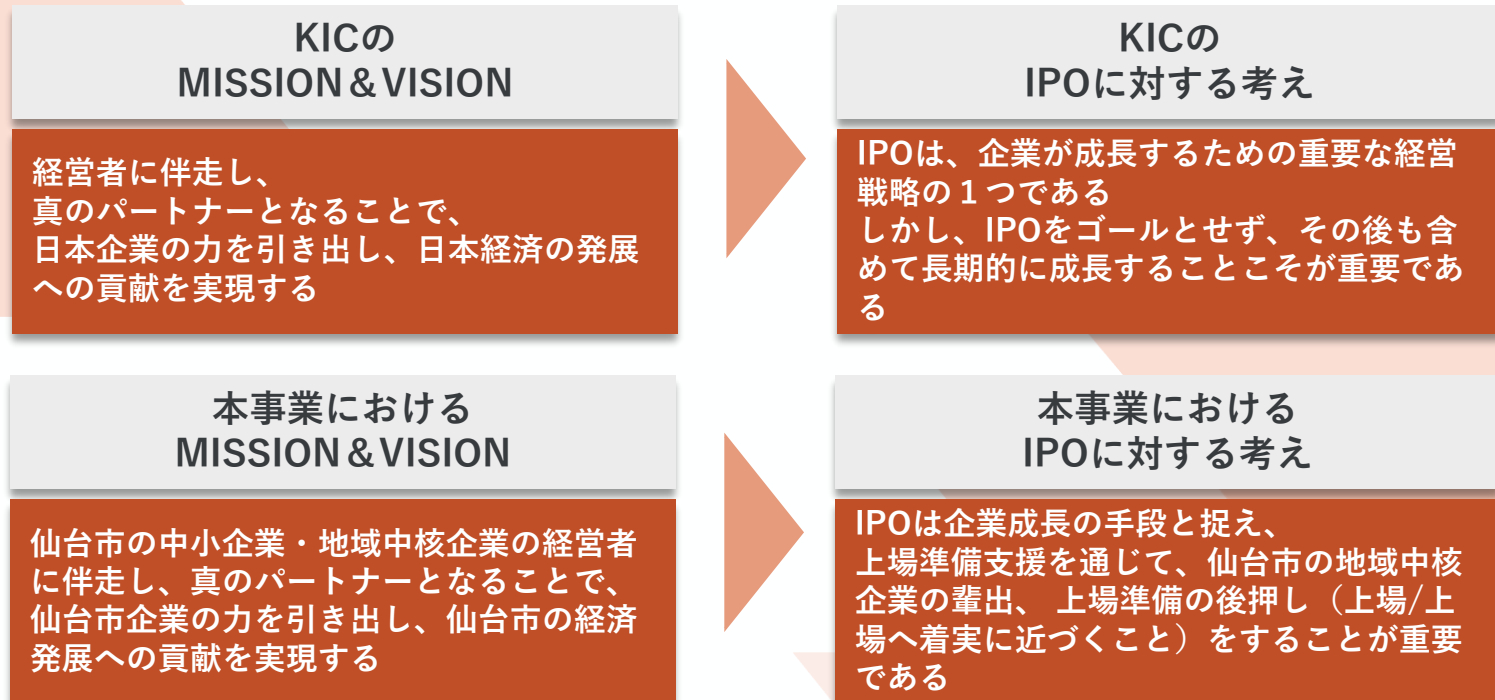
P11~P17 KICの伴走支援の特徴をご紹介します

01

伴走支援に対する実施方針とIPO に対するKICの考え

IPOに対する考え

- IPOは企業成長の「手段」であって「ゴール」ではない、という仙台市とKICの共通理念を基礎として、対象企業の経営者に伴走することが重要であると考えています



私たちの基本姿勢

IPO審査の本質は公器として認められるかの総合的判断です。

我々はプライベートカンパニーからパブリックカンパニーになるためのその過程を伴走します。

KICによるIPOコンサルティング

- ❑ IPOを志向する仙台市の中小企業・地域中核企業に対し、その本質を共有するとともに、目標に向かって伴走します
- ❑ IPO審査で求められる事項の趣旨、背景を丁寧に説明し、実践的かつ本質的な対応策をご提案します
- ❑ 企業の業種、規模等を考慮し、最良の仕組みづくりをご支援します
- ❑ IPO準備の過程で、上場後の成長、企業価値向上に向けた基盤を企業と共に創ります
- ❑ IPO関係者との良好なネットワークの構築・維持に貢献します
- ❑ これらを実現するため、当社はIPOに対する想いの深い、多種多様な経験を持った様々な年代のメンバーが集まっています
- ❑ 2022年1月の創業から今日に至るまで、50社超のIPO準備企業を支援しました。

IPO戦略室の取り組み～主な活動と事例

①IPO勉強会

東京証券取引所の方など外部の専門家を招いて最新のIPOのトレンド、留意事項などを吸収し、知識のアップデートを図っています（年2回を目途に実施）

②顧問による社内勉強会

KICの顧問を講師として、上場審査上のポイント、過去の審査で論点となった具体的な課題、近年のIPOのトピックなどをテーマとした社内勉強会を月次で開催し、より実務に即した事例を吸収し、社内全体の知識水準の向上を図っています

③KICラウンジ

主に若手を中心として、弁護士、証券会社などIPOに関するプレイヤーと定期的に意見交換を行う場として、KICラウンジを主催しています

④東京証券取引所等を始めとする関係者との交流

主に室長の伊藤を中心として、東京証券取引所、証券会社、監査法人等のキーパーソンと交流し、情報交換を行いながらKICのプレゼンスを高める活動を行っています

⑤IPOハンドブックの出版

証券取引所出身者・証券会社・監査法人・法律事務所・税理士法人・コンサルティング会社において豊富な経験を有するIPOプレイヤーを著者に迎え、IPOにかかわる多くの方にとっての実務の「教科書」となるよう、KICが主導して内容のとりまとめ等を実施しました（2025年7月に商事法務より出版）



⑥各種セミナー講師の担当

IPOの裾野を広げ、KICのMISSION & VISIONである「日本の資本市場の健全な発展と成長」に貢献するため、潜在的なIPO志向企業を掘り起こすべく、各地での講演も実施しています

02

本事業における各業務の支援内容

伴走支援 総合的支援「上場支援コース」(1/2)

対象企業のステージ・課題に応じて、IPO準備に関わるすべてをサポートできます



▶ 伴走支援(上場支援コース)の詳細はこちら

伴走支援 総合的支援「上場支援コース」 (2/2)



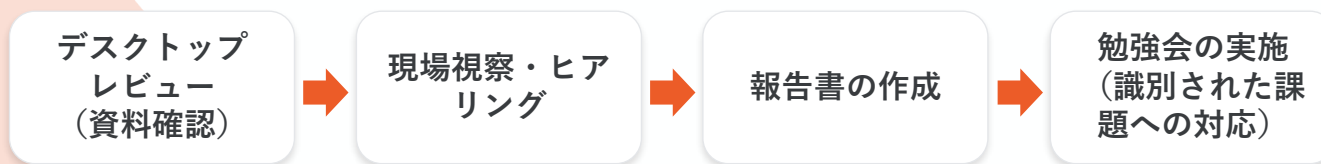
各支援先企業に2~3名程度の公認会計士でチームアップし、各業務を実施します

業務内容	支援方法
①上場準備に関するコンサルティング支援に向けた課題抽出及び計画策定	- IPO準備状況・認識している課題について、対象企業へのヒアリングを実施 - 監査法人との重要なMTGに同席を行い、監査法人が認識している課題や要求事項を把握 - 主幹事証券会社が選定されている場合には、証券会社との重要なMTGに同席を行い、証券会社が認識している課題や要求事項を把握 - 上記を踏まえた、課題と対応方針・対応スケジュールを踏まえたWBSの作成
②上場準備に関するコンサルティング支援（アドバイザー支援）	- 月に1回以上の定例会議の実施、①で作成したWBSに基づく進捗の管理 - 監査法人・主幹事証券会社の重要なMTGに同席を行い、指摘事項に対する助言、対応方針・対応スケジュールの随時の更新
③上場準備に関するコンサルティング支援（ハンズオン支援）	- 前頁のサービスについて、すべてサービス提供が可能 - 監査法人や証券会社の指摘事項の内、特に専門性の高い領域の支援（会計方針の整理（PPの作成、監査法人との合意）、J-SOX対応支援、規程の整備、内部監査支援等）をすることを想定 ※実施内容は支援先企業の要望を踏まえ仙台市と協議した上で決定
④士業専門家等による相談対応	各支援先企業の担当会計士による随時の相談対応（電話、メール、オンライン会議等）
⑤上場準備に係る中核人材の確保支援	- 各業務を通じて支援先企業の管理人材の育成 - 支援先企業の規模や業種に応じた必要な管理部人材像の明確化、採用助言、面接等への同席 - 人材紹介会社を通じた管理部門人材の紹介、KICネットワークによる人材の紹介
⑥支援機関等の紹介	支援企業の課題、ニーズに応じた支援機関等の紹介（監査法人、証券会社、弁護士、税理士、社労士等） ※基本的に、KICは、大手及び中堅の監査法人・証券会社とのネットワークがあります

分析支援「コーポレートガバナンス課題診断」

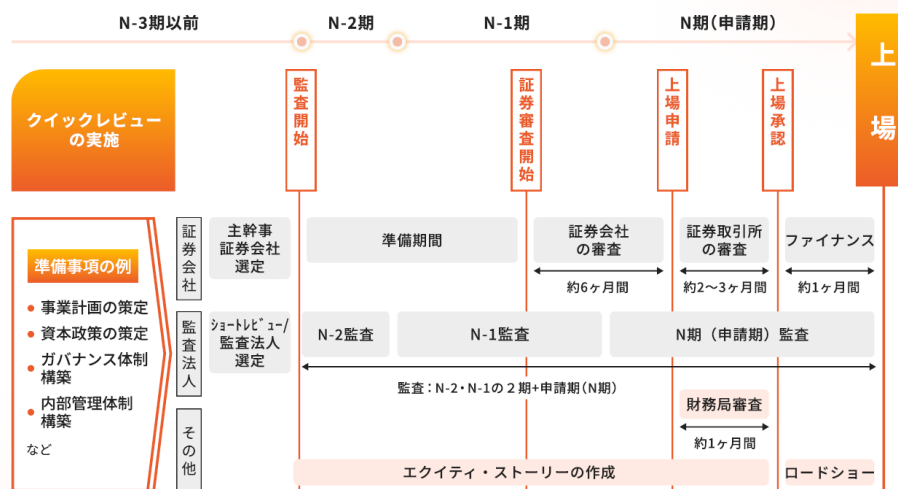


- N-3期以前のIPO準備会社に対して、IPOに関する本格的な検討に入る前のタイミングで重要課題を把握し、対応方針をご提案します



KICのIPO準備における課題診断サービス（クイックレビュー）を基礎に支援します

■ 上場までのスケジュール例とクイックレビューの位置づけ



■ クイックレビューを行う4つのメリット

メリット① 早期の課題解決が可能になる

監査法人のショートレビューの結果、解消に時間を要するような重要な課題が検出された場合、タイトなスケジュールでの対応を迫られる可能性があり、対応ができない場合は最悪のケースとして上場延期となることも考えられます。KICのクイックレビューはショートレビュー前に実施し重要な課題を把握するため、早期の課題解決が可能となります。

メリット② 監査法人との円滑なやり取りが可能になる

クイックレビューで把握した重要な課題への対応が進んでいれば、その後の監査法人のショートレビューで新たに重要な課題が検出される可能性は相対的に低くなるため、監査法人および監査を受ける企業様双方にとって監査に対する負担・ストレスを軽減し、円滑なやり取りが可能となります。

メリット③ 証券会社の目線を考慮した課題の把握が可能になる

ショートレビューでは主に会計監査の観点で課題が把握されます。一方で、上場に至るまでには会計監査よりも広い観点で行われる証券会社の上場審査にも対応する必要があります。KICには、証券会社出身のメンバーも在籍しており、証券会社の観点に沿ったより幅広い課題把握も可能となります。

メリット④ 課題の対応時に大手監査法人理事経験者・前東証上場審査部長への相談が可能である

KICでは、クイックレビュー後の具体的な課題の対応時に、必要に応じてIPO業界に精通した大手監査法人理事経験者または弊社顧問である東京証券取引所の前上場審査部長へ相談ができる体制としています。課題への対応にあたっては、最適なアドバイスの提供・ご提案が可能です。

▶ [課題診断の詳細はこちら](#)

03

KICによる伴走支援の特徴

KICの伴走支援の特徴

- KICは、上場審査の「実質基準」に即した本質的な対応を、企業と共に進める「伴走支援」を大切にしています。

観点	KICの伴走支援
支援スタンス	✓ 課題解決を企業と共に検討し、実行まで伴走する
管理体制	✓ 業種・業態・規模に合った体制を構築し、100社あれば100通りの管理体制を支援
ビジネスモデル	✓ ビジネスモデルそのものへのソリューション提供
審査対応	✓ 「実質基準」の趣旨に即した本質的な対応
メンバー	✓ 全員が大手監査法人出身のIPO経験者

KICの伴走支援の特徴_①IPO準備の本質の共有

- 上場に向けてマーケットが上場企業に求めるもの＝**上場審査の本質**を、準備の初期段階から**経営者と共有**します



公器としての体質

上場企業（公器）としての経営者に
ふさわしい、会社の体質を備える



安定的・継続的な収益性

守りに十分な資金をかけた上での、
安定的かつ継続的な収益性（ビジネスモデルの構築）



ガバナンス・開示体制

成長を支える安定的なガバナンス・
管理体制と、適切な開示ができる体制の構築

KICの支援

経営者としての素養、数値に基づく安定的な収益性、ガバナンス・開示体制のあり方まで
——上場の本質に踏み込み、実態を伴う体制づくりを経営者と共に進めます

KICの伴走支援の特徴_ ②事例紹介等に基づいた上場準備



- 上場できた会社・できなかった会社の違いを、過去の事例と現在の審査ポイントから解説。その知見をもとに、次に取り組むべきアクションまで経営者と共に協議します

上場に至らなかった主な要因



一過性のビジネスモデル

継続性・安定性を欠く収益構造



管理体制への理解不足

経営陣の管理体制に対する理解不足



リスクマネジメント不足

リスク管理体制の構築が不十分

KICの支援

IPOに必要な資料の形式的な準備の支援だけでなく、ビジネスモデルや管理のあり方そのものをクライアントと対話しながら設計します

KICの伴走支援の特徴

③ 上場審査の「実質基準」に即した支援

- 上場審査が求める4つの「実質基準」の趣旨に即し、会社の規模・業種にふさわしい体制構築を支援します



審査の視点

上場審査では、形式的要件は当然、企業実態そのものへの「**実質的要件**」が問われます



企業の継続性及び収益性

一過性ではなく、管理等の費用を賄える余力のある、安定的・継続的な収益性を検討



企業経営の健全性

特定個人の利益を排除し、一般株主の利益を損なわない、公正な経営体制を構築



ガバナンス及び内部管理体制の有効性

企業規模や業種にふさわしい、安定的で実効性のある内部管理体制を構築



企業内容の開示の適正性

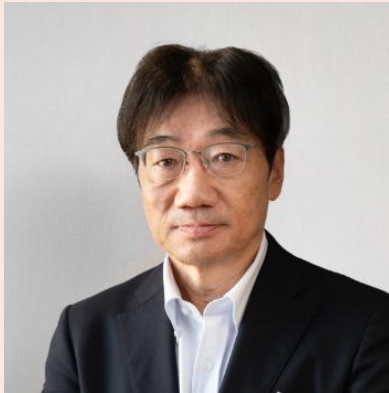
適時・適切に企業内容を開示するため、自社の十分な理解と説明の工夫を会計士メンバーが支援

KICの支援

IPOの形式的要件の支援のみではなく、4つの実質基準の趣旨をふまえ、会社の規模・業種にふさわしい、実態を伴う体制づくりをクライアントと共に進めます

KICの伴走支援の特徴_④本プロジェクトメンバー

■ メンバーは全員が**大手監査法人出身のIPOを経験した公認会計士**。
豊富な実績を持つ**プロジェクトオーナー**が自らも現場に立ち、経営者に伴走します。



本プロジェクトオーナー

伊藤 俊哉 (Ito Toshiya)

- 大手監査法人で企業成長支援本部長・常務理事を歴任
- 長年にわたり数々のIPO支援を経験
- 仙台・新潟等での「人材育成プログラム」講師を歴任

プロジェクトオーナーが担う役割



組織の在り方を踏まえた再構築

上場時の会社全体の「組織の在り方」を踏まえた効率的な再構築を、オーナー自らが支援します



ビジネスモデルへのソリューション

ビジネスモデルそのものに対するソリューションを、オーナー自らが提供します

まとめ

KIC



本質の共有

上場審査が求める本質を経営者と共有



事例に基づく準備

過去の事例からつまづきを未然に防止



実質基準に即した支援

4つの実質基準に沿った体制を構築



IPO経験豊富な会計士

大手監査法人出身のIPO経験者が伴走
またプロジェクトオーナーもメンバーとして支援

「何を」「どのように」「どうすれば」上場できるのか
——すなわち上場審査が求めているものを会社と適切に協議し、全体進捗を管理しながら、効果的な支援を実施していきます

KIC

本資料をご高覧いただき、誠にありがとうございました。

参考リンク

仙台市 上場支援事業 概要

- ▶ <https://www.city.sendai.jp/chiikikeizaisaisei/chukaku/joujoushien/gaiyou.html>

株式会社KiC ホームページ

- ▶ <https://k-ic.co.jp/>